THAT WE MAY SERVE TOGETHER 2022 - 2023 共に仕えるために

世界宣教の日 2022年10月2日



日本基督教団 世界宣教委員会

はじめに

MAKOTO KONDO

近藤 誠 世界宣教委員会書記



科学技術の日進月歩のスピードはますます加速し、世界の隅々にまでインターネット網が張り巡らされています。報道メディア以外にも個人の SNS によってリアルタイムに情報が拡散され、世界はますます狭くなっているように感じます。かつて SF 小説で空想として描かれていたことまでが次々に実現していき、置いてきぼりにされそうです。しかしいつの時代も未来への過渡期なのであって、私たちは何とかこれらの変化に対応しながら生きていかねばなりません。

例えばコロナ禍は、私たちにパラダイム・シフトをもたらしました。世界宣教委員会を対面で開いたのは 2020 年 2 月が最後で、それ以降は全てリモート会議になっています。また、礼拝や集会をライブ中継する教会・伝道所が増えています。この動きにはもちろんメリットとデメリットがあり、しばらく後に宣教史的考察の対象となることでしょう。

このような「過渡期」に、派遣宣教師活動報告をパソコンの画面越しにお聞きしながら、改めて考えさせられたことがありました。それは、教団が世界各地に宣教師を派遣することの意味です。悪戦苦闘しながら、現地の人々と共に手を取り合って宣教されているお一人おひとりの姿にいつも感動を覚えます。私たちは結局のところ、それぞれ主に生かされている人と人との交わりが大切なのではないでしょうか。将来、仮想空間に作られた教会にアバター(分身プログラム)で参加したとしても、その向こう側には心を通わせることのできる人間がどうしても必要なのです。技術はあくまでも、ツールとして有効に用いたいものです。

宣教師の皆様の報告は、文化や言語の紹介だけでなく、その地域の問題点、集われている人々の様子、宣教課題、あるいは神が与えてくださる恵みについてなど、多岐にわたります。これらのことは、どうしてもその場で生きていないとわからないことばかりです。表面的な情報を得るだけで世界が狭くなっていると感じるのではなく、私たちはもっと積極的に出かけて行き、主にある豊かな交わりに具体的に生きることの中で用いていただく喜びに与りたいのです。今この時、リモートであれ対面であれ、主の福音を必要としている人々に心から寄り添う働きができるように、聖霊の助けを祈り求めつつ歩む者でありたいと思います。

日本基督教団派遣宣教師・関係者

アジア

06三浦照男インド・アラハバート2004 年就任、サム・ヒギンボトム農工科大学

07 クアラルンプール日本語キリスト者集会 マレーシア・クアラルンプール

08 ベルトラン小川文子 フィリピン・ボホール 2012 年就任、ボホール・ゴスペルサチュレーション・プロジェクト

09 うすきみどり 台湾・台北

2006年就任、国際日語教会

10 高井ヘラー由紀 台湾・台南

2018年就任、台南神学院

北アメリカ

11 石田 求 米国・カリフォルニア州

2020年就任、シカモア組合教会 日語部

12 久山康彦 米国・カリフォルニア州ロサンゼルス

1988年就任、ウェスト・ロスアンゼルス合同メソジスト教会

13 森谷和夫 米国・アラバマ州バーミングハム

2003年就任、ファースト長老派教会

14 正木義道 カナダ・マニトバ州ウィニペグ

1974年就任、ノックス合同教会名誉牧師/カナダ臨床会教育学会教授

パイン合同メソジスト教会 ユニオン日本語教会 日本人特別牧会

南アメリカ

- 15 江原有輝子 パラグアイ・ピラポ2019 年就任、ピラポ自由メソジスト酒井兄姉記念教会
 - ラ・グロリア教会 ボリビア・サンタクルス

ヨーロッパ

- 16 伊勢 希 ベルギー・ブリュッセル 2022 年就任、ブリュッセル日本語プロテスタント教会
- 17 プラハ・コビリシ教会 チェコ・プラハ
- 18 秋葉睦子ドイツ・ベルリン2005 年就任、ベルリン日本語教会
- 19 佐々木良子 ドイツ・ケルン
- 2016 年就任、ケルン・ボン日本語キリスト教会

THAT WE MAY SERVE TOGETHER 日本基督教団派遣宣教師一覧







サム・ヒギンボトム農工科大学 マキノスクール(学部長) 2004 年~

TERUO MIURA

三浦照男

明治末期、サム・ヒギンボトム農工科学大学はアメリカ長老派教会の宣教師、サム・ヒ

ギンボトム博士によって設立されました。当初は地域の農村リーダーの育成と教育を目的とした農業専門学校で、現在はアジア、アフリカ、中東諸国からの留学生を含む学生数1万5千人を有するキリスト教主義総合大学です。設立当初から現在に至るまで、欧米、オーストラリア、ブラジルから宣教師が派遣され、教鞭を執り、技術指導等を行いました。日本基督教団から派遣された牧野一穂氏は、1975年、農学部の中に草の根で働く農村指導者を養成するためにノンフォーマル教育センターを設立、インドのみならず、ネパール、ミャンマーからも研修生を受け入れました。牧野氏が引退された2004年に、私が彼の仕事を引継ぎ、現在に至っています。現在は、ノンフォーマル教育センターは農学郡類の中の一つの学部として認定され、マキノスクールと呼ばれています。

当スクールは「より持続可能に、より女性の参加を、より子どもに教育と希望を」をモットーに掲げ、草の根の農村リーダーのための持続可能な農業研修、女性の自立と社会的向上を目指した収入向上、栄養改善、母子保健、更には農村社会の発展のための有機農業組合活動の支援、貧困家庭の子どもの教育支援等を行ってきました。新型コロナ感染拡大に追い打ちをかけるように、長雨による水害、アフリカから飛んできたサバクトビバッタによる虫害、森から出てくるニルガイと呼ばれる野生牛による獣害、次から次へと私たちが住む地域には想像を絶する災難が襲ってきました。このような状況にあっても、1~2時間もかけて彼ら彼女たちの住む農村から通勤し、マキノスクールの精神を理解し、共に働いてくれる現地人スタッフ、日本人スタッフに心より感謝いたします。

近年、インド社会の変化について危惧するところがあります。ヒンドゥー至上主義を前面に掲げる民族主義団体が推すインド与党になってから他宗教への活動制限が厳しくなってきています。私たちが住むウッタルプラデシュ州でも改宗禁止法が成立し、今年になってから韓国の牧師とその集会に参加していた 50 名が警察に拘束されたと新聞にはありました。また、イスラム教徒のデモ参加者数名がガソリン火炎瓶を使ったテロ行為をしたことをうけ、車やバイクに直接ガソリンを入れ購入する以外、その販売を禁止すると発令がありました。草払い機や小型耕耘機の燃料を購入するのも大変になっています。実は、これはイスラム教徒に対する政府当局の嫌がらせともとれる規制条例のプロパガンダでもあり、イスラム教徒の怒りは増すばかりです。

このような社会状況にあっても、神が和解の道を示し、癒しの手を差し伸べ、隣人を愛する力と業を与えてくれること、そして全ての人に平和の希望を与えてくれることを願い、祈りつつインドでの働きを進めます。祈りに加えてくだされば幸いです。

Dr. Teruo Miura, Dean

Makino School of Continuing and Non-Formal Education Sam Higgingbottom University of Agriculture, Technology & Sciences Prayagraj (Allahabad) 211007 U.P. India

Phone/FAX: +91-532-2684306 Mobile: +91-894-8101373 Email: teruomiura2007@ybb.ne.jp



MALAYSIA

クアラルンプール

クアラルンプール 日本語キリスト者集会

Kuala Lumpur Japanese Christian Fellowship KLJCF



クアラルンプール日本語キリスト者集会(KLJCF)はマレーシアの首都 クアラルンプール市とその周辺に住む日本人の信徒が中心となって、1983 年から日本語で礼拝を捧げています。メンバーは駐在員と家族、退職者ビザ保有者、マレーシア人と結婚している日本人です。

コロナ禍対策による教会での礼拝禁止が解除され、2022年5月1日に、2年2ヶ月ぶりに教会での礼拝が再開されました。2年前までは20名前後だった礼拝出席者ですが、その日の出席者は8名でした。5月から7月までは第1週、8月からは第1週と第3週の礼拝を教会で捧げていますが、出席者は低迷しています。出席者の減少の理由は、多くの人が帰国したこと、また礼拝堂を使わせていただいているPJゴスペルホールの設定している礼拝の運営基準が厳しく、礼拝に出席しにくいことです。

対面での礼拝は苦難の中にありますが、ウェブサイトでは、2022 年 3 月 17 日から毎日、KLJCF のメンバーと連なる人たちの祈りを掲載しています。教会での礼拝のない日曜日には説教の配信、婦人会は月に 2 回の Zoom でのミーティングを継続しています。

お祈りの課題は、(1) クアラルンプール周辺に住む日本人のクリスチャンが KLJCF の存在を知り、礼拝に出席してくれること、(2) 未だ主イエスのことを知らないマレーシア在住の日本人に対して、KLJCF が伝道の器となる機会が与えられること、(3) KLJCF の礼拝から遠のいた人たちが帰ってくるきっかけが与えられること、(4) コロナ禍以前のように、クリスマス礼拝、イースター礼拝、母の日礼拝、チャペルコンサート、ファミリー・キャンプ、日英バイリンガル伝道集会、教会学校を再開すること、です。

Kuala Lumpur Japanese Christian Fellowship c/o PJ Gospel Hall No.1A, Jalan Gasing 46000 Petaling Jaya, Selangor MALAYSIA

Phone: 019-345-1334 (コー・はんな牧師夫人)

Email: moroe@sakura.net.my (諸江修)



教会 HP

PHILIPPINES



ボホール・ゴスペル・サチュレーション・プロジェクト 2012 年~

AYAKO BELTRAN OGAWA

BELTRAN GAMALIEL, Jr.

ベルトラン小川文子

ガマリエル Jr. (通称ガム)

GAMALIEL III

HANA NOA LUKE

ガマリエル三世 (通称アリ/在) 花 望 琉火

ハレルヤ!フィリピンの真ん中、ボホールから愛する兄弟姉妹にご挨拶申し上げます。いつもボホールでの主のお働きを覚えてお祈り下さり、本当にありがとうございます。また世界の各地で猛暑、熱波、干ばつ、洪水などで大変な思いをしておられる方々を覚え、心よりお見舞い申し上げます。

ボホールも例外ではなく、昨年のクリスマス前に襲った台風により、特に北部が壊滅的な被害を受けました。現在は落ち着きを取り戻しましたが、2か月間電気も水もない生活でした。ボホール沖に点在する小さな島々は、高潮で家々も木々も根こそぎになり、一切を流されてしまいました。私たちの住むタグビララン市の教会はそこまでの被害ではなかったものの、電気と水がなく浸水した部屋を掃除する暇もないまま、避難所兼ボランティアセンターとなり、泊まる人々と支援物資であふれました。給水車を待ち、飲み水や物資の調達に並ぶのにも人手が要りました。

北部には最初全く連絡が取れず、不気味な沈黙だけがありました。世界中から家族を心配する人々が「様子を見に行って」と頼んでこられました。道路が開通した日に出かけ、ゾンビ映画のような荒涼とした風景にショックを受けました。激しい暑さをしのぐ日陰すらなく、飲み水もありませんでした。それからできる限りの支援をはじめ、1週間目ですでに疲れ果てしまいましたが、その後も大きな支援団体と協力して多くの方々に緊急支援をすることができました。

電気がないので涼を求めて外で星を見ながら寝て、井戸のある家で洗濯や水浴びをさせてもらいながらの支援活動でした。子どもたち4人もよく一緒に行き、トラックの荷台や舟で心地よさげに眠り、帰り道には疲れ果てた夫が車を止めて全員路上で眠ることもしばしば。それでも1か月後には、枯れた木々で茶色かった風景も緑に戻ってきて、2か月後には懐中電灯の要らない生活に戻りました。災害の後は肉体的にも霊的にも調子を崩すことがありますが、皆様のお祈りと主の憐みにより、守られましたことを心より感謝します。またこの支援活動を通して2か所で新たな家庭集会が始まりました。困難の中でも教会の働きは前進し、例年通り多くの人々が洗礼を受けました。今は中心メンバーは80名ほど、礼拝、家庭礼拝への出席者は200名前後ですが、今年中に500名の教会になることを目指して祈っています。放送伝道も再開しました。今後もどうぞお祈りをよろしくお願いいたします。皆様の愛に心より感謝して。

Rev. Ayako Ogawa Beltran

0077, Calceta St., Cogon Dist., Tagbilaran City, 6300 Bohol, Philippines

Phone: +63-948-1033333 Email: beltranmission@gmail.com

ブログ: http://00110-1-543639.at.webry.info/



ブログ HP

TAIWAN

台湾基督長老教会 国際日語教会 2006 年~

MIDORI USUKI うすきみどり



平安♪ いつもお祈りや、励ましのカード、お便りをありがとうございます。 昨 2021 年 6 月に初めて日本から AZ ワクチンが届きました。政治的に孤立させられやすい台湾にとって初のワクチン上陸であり、それは「やっぱり親友!日本から!」と、政府をあげて沸き立ちました。台湾在住の日本人は誰もが、周囲の台湾人から「感謝」「ありがとう」の言葉を浴びました。台湾の代表的建築物の圓山ホテルや台北 101 高層ビルには「アリガト」「台湾♡日本」「台日の絆と感謝」等の日本語が点灯され、「暗闇」に光が差しました。

「これしかない」のではなく、「これがこんなにある=感謝」という2匹の魚と 5つのパンの奇跡を思わされました。

同時にワクチンへの感謝もさることながら、台湾は見捨てられていない、という思いが強かったように思います。日常的に国際間の緊張の中にいるからこそ、「隣人愛を喜んで受ける」という姿勢を学びました。

私たちの教会にはガイド等観光業従事者も多く、新型コロナウイルス感染拡大の大きな影響を受けた方も少なくありません。信仰に堅く立って支えあうことも教えられました。

一方、渡航後の台湾での隔離政策が厳しく、この2年半多くの日本人が簡単に帰国できない状況でした。そのため教会を借りて行われる料理教室、パン教室、合唱団などに集まってこられました。その中のクリスチャンでないお母さま方から「教会学校を開いてください」といううれしい驚きの要望があって、しばらく休会となっていた教会学校が、新しい形で復活しました。月に1回、土曜日午後に。すると信者でないのに親子やご家族で参加され、教会の活動がない時にも気軽に教会へ立ち寄ってくださるようになりました。主の導きと恵みは私たちの思いをはるかに超えています。世界各地で、御心がなっていますように!

111-52 台湾台北市中山北路六段 728 巷 9 弄 3 之 1 号 2F

国際日語教会内

電話:+886-(0)963-148835 MAIL:shalommidori@gmail.com

TAIWAN



李マティン先生(前荻窪台湾教会牧師故李孟哲牧師 のお連れ合い、左から三人目)と台南市徳光教会新 会堂前にて

台南神学院 2018年~

YUKI TAKAI-HELLER 高井へラー由紀

JOHATHAN KOKI ジョナサン恒基 ジェームス彰基

DANIEL HELLER ヘラー・ダニエル **JAMES SHOKI**

EMILY SACHI エミリー幸

世界盲教の働きに関心を寄せて祈り捧げてくださっている皆様に感謝いたしま す。皆様の祈りと励ましに支えられ、台南神学院での4年目の働きを無事に終え ることができたことを主に感謝します。

台南神学院では、私が赴任した4年前に政府の認可を受けた「南神神学院」の 文学修士プログラムが発足しましたが、その後、学生数が徐々に減少、あまり先 行きがよくありません。ただ新しい院長を2年前に迎えてから学校の財政難が緩 和され、長期的な計画を立てることができるようになってきました。今後の台南 神学院の方向性のためにお祈りください。

私自身は、図書館長という新しい仕事に情熱を持って取り組みましたが、予想 以上にストレスが多く、2年半ぶりに一時帰国する直前は心が崩壊寸前でした。 授業やその他の活動については、さすがに4年目に入って内容やスタイルも大体 定まり、落ち着いてこなせるようになってきました。最もやりがいを感じた宣教 学の授業では、いかに聖書や神学の基礎を踏まえ、歴史に学びながら、常に変化 する台湾の多元的状況の中で革新的な要素も吸収しつつ宣教に従事していくべき か、卒業後も長く応用できるような授業をしたいと思って懸命に準備する中で、 自分自身の成長を感じました。英語教会での奉仕や毎日の生活の中でも、精神障 害者、ホームレス、孤独のあまり悪霊に取り憑かれてしまった留学生など、台湾 社会の中で周縁に取り残されている人々に出会い個人的に関わる機会を神様が与 えてくださり、福音の意味と愛や憐れみの奉仕の重要性を強く感じた1年でした。

また、この1年は家族が台湾、日本、米国の3箇所に分かれていましたが、そ れぞれに守られたことに本当に感謝します。夏の一時帰国を経て、秋学期は台湾 と日本に分かれ、春学期は台湾で一緒に生活、という状態に戻ります。

台湾を取り巻く状況は不安定ですが、「良い時も悪い時も」心を尽くして教会の ために良い神学教育を提供していく力が与えられますように、どうぞ続けてお祈 りください。

連絡先:701 台南市東區青年路 360-15 號

高井へラー由紀女士

自宅電話: +886-6-2080703 携帯電話:+886-901-480306 MAIL: hivukiheller@gmail.com URL: http://www.ttcs.org.tw



台南神学院 HP

USA

カリフォルニア州 シカモア組合教会 日語部 2020 年~

MOTOMU ISHIDA

石田 求



シカモア教会の2年目に入りました。未だなおコロナ禍が続き、身近なところで感染される方も増えています。9月に予定しているバザーも通常規模での開催は今年も見送ることとし、食べ物や掘り出し物市に限定して行うこととなりました。しかし、昨年はドライブスルー形式の食べ物販売のみでしたので、多少は前進しているように感じます。

現在(7月時点)、英語牧師が不在となってから7ヶ月が経ちました。英語牧師招聘が目下の課題となっています。普段の英語礼拝にはゲストスピーカーを招いていますが、月1回の合同礼拝では、私が英語と日本語の式文の作成、説教も両語で行っています。これほど自分の説教原稿を何度も声に出して読み返し、練習したことはありません。英語の発音の確認から間の取り方、抑揚まで日本語とは全く異なるため、練習に多くの時間をかけています。

英語牧師が不在となってから英語部会員の訪問も行うようになりましたが、拙い英語のためその働きが十分とは言えません。英語牧師が与えられるようにお祈りいただけたら幸いです。

またシカモア教会の行事のない土曜日にはパイン教会の礼拝説教に行くようになりました。パイン教会をはじめ、日語牧師不在のベイエリア日系教会が増えています。これまで以上の結束と連帯が求められる中、こちらにも新たな働き手が与えられることを祈っています。

今年の10月にビザの更新のために一時帰国する予定です。更新に必要な書類が想定を大幅に上回るスピードで早々に整い、帰国して手続きをするだけとなりました。ビザで苦労する方が多い中、これほどスムーズに進んだことは本当に感謝です。

シカモア日語部ではこれまで2回のウクライナ支援のためのファンドレイズを行いました。多くの苦しむ人々に1日も早く平和が訪れるようにお祈りしています。

Sycamore Congregational Church 1111 Navellier Street El Cerrito, CA 94530 U.S.A.

教会 HP: http://www.sycamoreucc.org/jp/

Email: motomu 0326@yahoo.co.jp



教会 HP



ウェスト・ロスアンゼルス合同メソジスト教会 1988 年~

YASUHIKO KUYAMA

KEIKO KUYAMA

久山康彦 久山啓子

変異を続けるコロナ・ウィルスですが、ワクチン接種の拡大により、ロスアンゼルスは落ち着いてきています。外では、マスク着用の義務化もなく、出入国も規制緩和されています。一時は深刻だった雇用状況は改善されていますが、コロナによるサプライチェーンや生産などの影響に加え、ロシアのウクライナ侵攻による、原油高、家畜飼料や肥料などの高騰によるイン

フレが経済に大きなインパクトを与えています。

ウェスト・ロスアンゼルス合同メソジスト教会は、願っていた対面礼拝が出来るようになりましたが、マスク着用は続けられています。賛美が難しいのが難点ですが、以前のように親しい友人や子どもたちに会えるのが何よりです。ただ、高齢者の訪問などは、感染リスクが高いので、まだ再開する事はできません。

オレンジ郡での日本語礼拝は、月に一度アーバインのユニバーシティ教会で、対面 形式で行われています。来られない方の為には、zoomで礼拝を中継しています。ご 一緒に奉仕をしていた、同志社の深田未来生先生が6月に召され、現在は、伊藤秀実 牧師(zoom)と私の二人で此のミニストリーを支援しています。

教区財団の財務理事職は続けています。コロナとウクライナ侵攻により高騰している食料品の必要な家族の支援が中心で、現在教区の36教会による食料提供プログラムを支援する為に資金提供を行っています。また、再開した教会のサマーキャンプ等の、夏季プログラムの経済的支援は欠かせません。特に、貧しい地区では、このようなプログラムがコミュニティーにとって重要な意味を持ちます。株価の急落により、今年後半については慎重な舵取りが必要になりますが、必要なミニストリーの支援は続きます。

理事を務めるダウンタウンの低所得高齢者施設の耐震工事は、順調に進んでいます。 約 400 名が住む 16 階建ビルの各階を半分ずつ工事します。住民のホテル等への一時 移動が伴いますので、大仕事です。毎週の工事関係の zoom 会議出席と、月に1回の 施主臨検への参加が欠かせません。完成は 2023 年の夏を目指しています。

私のライフワークでもある、ボーイズタウンの子供への行動療法プログラムの拡大は、順調に進んでいます。今年は、昨年に続き「コモンセンス・ペアレンティング学齢期編」の最新版を出版する事ができました。現在、私達の団体では、児童虐待予防だけでなく、発達障害の子どもたちへの指導、里親指導、そして学童保育での活用などを含めて子どもと家族をサポートするプログラムを充実させており、コロナ禍でもzoomでスペシャリストの研修を続けています。

キリストの愛を伝える方法は様々ですが、十字架の愛にもれる者はないという確信 を持って、ミニストリーを続けていきたいと思っています。

祈り 世界が混沌とする中で、神の愛が人々に希望を与えられますように。

Rev. Yasuhiko Richard Kuyama

828 7th St, Santa Monica, CA 90403 USA

Phone: +1-(310)450-3930 (FAX 兼)

Email: dryrkuyama@gmail.com

USA

アメリカ合衆国長老教会 ファースト長老派教会 協力牧師 2003年~

KAZUO MORIYA

TAMARA

森谷和夫

タマラ

KIAMU

AIDEN

希編

愛伝

御名を讃美いたします。いつも私共一家のためにお祈りくださり、また、私共が皆様のお祈りよって支えられておりますことを、心より感謝いたします。

私共がアラバマ州バーミングハム市のファースト長老派教会(Presbyterian Church USA - PCUSA)におきまして伝道・牧会を始めてから早 20 年が過ぎようとしております。

アラバマ州はここ 25 年の間にドイツ、日本そして韓国の自動車産業の進出により加速的に国際化が進みました。15 年ほど前には、日本人人口も 4 千強と言われておりましたが、現在では、2 千人強と減少傾向にあり、私共の住むバーミングハム近辺でも以前には 450 人程あった日本人人口も、現在では約 200 人前後に減っていると言われています。

今年も、やはり一番大きな話題は新型コロナウイルス感染症ではないかと思われます。全米では現在日本同様に感染者数が少しずつ増えていますが、ここアラバマでは横ばい傾向にあるそうなので、この点では難を逃れています。我がファースト長老派教会でも、去年のイースターより、Online(YouTube および Zoom)だけではなく、実際に礼拝堂において礼拝を守っておりますが、やはりコロナ禍の影響で、それ以前に比べると礼拝出席者数がかなり減ってしまいました。又、ご存知の様に、現在アメリカでは中絶に関する最高裁における判決が覆され、世間で大きな話題を呼んでいるだけではなく、保守派とリベラル派との溝をより一層広げる結果となり、社会に不安な影を落としております。私共の教会では、個人の自由を尊重するという立場に立って、女性の権利を守るための活動を支援しております。

去年より早朝礼拝は、主礼拝を 11 時開始から 10 時開始に変更して主礼拝と合併いたしましたので、わたくしは現在、4,5 か月に一度の割合で、説教奉仕をさせて頂いております。

わたくしの立場は協力牧師である為に教会からは謝儀をもらっておらず、平日は妻 共々それぞれ別々の職場でサラリーマンとして働きつつ日本人伝道に家族共々努めて おります。二人の息子たちも早 21 歳と 15 歳になり、長男は独立も間近となりました。 これからも私共一家およびファースト長老派教会の働きの上に、お祈りいただければ 幸いです。

Rev. Kazuo Moriya

4511 Old Tavern Road, Birmingham,

AL 35242 U.S.A

Email: tamakazu@charter.net

CANADA



ノックス合同教会名誉牧師(日本語部牧師) カナダ臨床牧会教育学教授 1974年~

YOSHIMICHI MASAKI

HIROKO MASAKI

正木義道

正木浩子

第二次世界大戦勃発に伴い西部海岸地区か

ら強制移動させられた「カナダ日系人」が汽車で Alberta, Manitoba, Toronto, Montreal, Ottawa, Hamilton 等 に 移 動 し た。United Church of Canada's Home Mission 局が担当した。1200名がマニトバ州に定着。国内宣教部の精神的配慮で赤川牧師が車の所有を許されマニトバ州に散らばった日系人の訪問、各地で家庭集会を守った。1944年ウイニペッグ市内に移住が許され1945年4月15日 Knox United Church に「マニトバ日系人合同教会」が創立。5名の牧師(赤川・小倉・古屋・則末・正木)が担当した。2000年に母教会に合同して「Knox United Church's Japanese Section」になる。正木が名誉牧師として日・英語の牧会を担当。

2020年夏には新型コロナウイルス感染拡大により、カナダ政府の命令に従う事を要請された。Knox United Church は閉鎖の責任を政府から命じられた。今年、草野姉(92歳)を始め高齢者を多数、天国に送った。葬式も参加者 10名に限られた。日本式の伝統が守られない現状である。コロナ禍を契機に、教会は新しい移民の受け入れを模索しはじめた。また、カナダ原住民に対して過去になした歴史的事柄への責任を実行する事を自覚している。教会役員はそれらを実行する機会と責任に苦闘しています。

個人的な面では心臓発作を体験して入院、Heart Failure Clinic(心不全)の患者となる。薬と格闘する生活をしている。毎日が神様からの恵である。今年7月14日長女恵 Megumi Masaki(Eckhardt-Gramatte 音楽コンクール芸術監督/ブランドン大学教員)がその社会的貢献が認められて今年度の The Order of Manitoba を授与された。カナダ国内・世界中にコンサートに飛び回っている。原住民の音楽作家とも協力しあっている。 4歳で日本から来た彼女の奉仕が Megumi Masaki としてマニトバ政府機関に承認された事は、親として感謝が尽きない。

カナダ平原州の中心部に在る Winnipeg のポスト・モダニズムの宣教の責任を負って妻浩子と努力しています。皆様のお祈りを感謝します。

Rev. Yoshimichi Masaki

729 Lanark Street, Winnipeg, Manitoba R3N 1M6 CANADA

Email: Ymasaki@shaw.ca Phone: +1- (204) 489-3226

PARAGUAY

ピラポ自由メソジスト日系教会 2019年~

YUKIKO EHARA

江原有輝子



いつも私どもを覚えてお祈りお支え下さり、ありがとうございます。

今年5月に任期3年目を迎えました。昨年教団世界宣教委員会から任期延長について打診があった時、「ピラポの医療事情や治安の問題から、あと3年は難しいが、後任の牧師が決まらないので2022年末までここにいたい」とお返事をいたしました。今年初めの一時帰国時にも委員会と支える会にそのお願いをし、承認されました。昨年末、ピラポ日本人学校の教員依頼があり、承諾しました。パラグアイの学校は1月に始まり12月に終わりますので、年末まで任期を延長したことは神様のお導きであったと感じています。

2022 年前半は新型コロナウイルスも下火になり、事実上 2 年間休学していた学校も対面授業を再開し、子どもの日や運動会などの行事も例年通り行いました。ところが、7 月にこれを書いている時点で再び感染者が増加し、日本人会の行事が中止になったり延期されたりしています。今年後半は感染拡大を抑えて、なんとか通常に近い形で過ごしたいと願っています。

教会は、イースターやクリスマスの愛餐会は行っていませんが、聖餐式を含む 礼拝は毎週変わらず続けています。6月には3回目の献堂記念日をお祝いしました。 その中で、これまで何十年もこの教会を支えてきた方々が高齢になり、体調不良 から礼拝に出席できないことも増えてきました。大変寂しいことですが、新しい 来会者が与えられることを心から願っています。

7月の冬休みの間に、アスンシオン自由メソジスト教会の礼拝に出席している日本人のご家族が旅行でピラポの辺りに滞在され、礼拝に出席されました。小さな子ども2人の4人のご家族の出席で、出席者がいつもの2倍になってみなとても喜びました。昨年から「使徒の働き」(新改訳聖書)の講解説教を続けていますが、パウロがくじけそうになるたびに神様が励ましてくださるのと同じように、私たちにも励ましが与えられていることに心から感謝しています。

皆の健康が守られて毎週の礼拝が続けられること、新しい宣教師が与えられる ことを心から願っています。

Pastora Yukiko Ehara Iglesia Methodista Libre Pirapó Nikkei, Av. Japón y Ecuador, Centro, Pirapó, Itapua, Paraguay Email: yukiko8888@gmail.com

BELGIUM



ブリュッセル日本語プロテスタント教会 2022 年~

NOZOMI ISE

伊勢 希

当教会はケルン・ボン日本語キリスト教会の家庭集会をきっかけに始まり、2006年のペンテコステに、日本からの牧師を迎え、ベルギー唯一のプロテスタント超教派の日本語教会として設立され、以来、当地の在留邦人やその周りの人たちへ福音を伝えることを目標として主日礼拝や、イースター・クリスマス礼拝等の活動を続けております。

日本の12分の1程度の国土のベルギーには現在5,000人を超す日本人がおり、その内訳も、永住者、駐在員やその家族、留学生など多岐に渡ります。歴史的にも文化的にもキリスト教的背景に豊かに恵まれた当地で、キリスト教に興味を持たれた方、慣れない異国の地で日本人のコミュニティを求めている方々や旅行で訪れた方など、あらゆる方々に対して門戸を開き、伝道を行っていくことも、当教会の重要なミッションです。

2019 年末からの新型コロナウイルスの世界的な流行により長らく集会を持つことが叶わずにおり、昨年9月には前任の牧師が辞任して無牧となる等、ここ数年は試練や困難が与えられてきましたが、その期間を通じて各自信仰と向き合い、信徒間の繋がりを強め、そして、ケルン・ボン教会をはじめとする在欧諸教会とこれまで以上の繋がりを持つことができました。

今年に入って集会が再開され、また、この秋から期間限定ではあるものの、熱意のある伊勢希牧師を日本基督教団より短期派遣宣教師(2022年8月~2023年1月)として派遣頂くこととなり、御前に集って礼拝を捧げられる喜びを改めて感じつつ、当地にあって、神様の光をより一層強く映す教会としての役目を果たしていく希望が与えられたことを感謝しています。

日本とは距離がありますが、これからも互いに祈りつつ、信仰を守り、広げていくことができれば至上の喜びです。ベルギーにお越しの際には、是非お立ち寄りください。(報告者:中村雄)

Rev. Nozomi Ise

Email: nonzomi0219.0550@gmail.com

ブリュッセル日本語プロテスタント教会連絡先

郵送先: Eglise protestante japonaise de Bruxelles

Avenue Delleur 17, 1170 Watermael-Boitsfort BELGIUM

教会 Email:brussels.nihongokyokai@gmail.com 教会宛の電話:+32 492 59 43 94(中村兄)

教会 HP: http://brussels-nihongokvoukai.blogspot.jp/



教会 HP

CZECH

プラハ

プラハ・コビリシ教会

プラハ・コビリシ教会は、チェコ兄弟団福音 教会 (Evangelical Church of Czech Brethren) に 属する教会です。2000 年 1 月からチェコ語の礼



拝とは別に韓国語礼拝が始められ、数年後から日本人の信徒が通訳を介して礼拝を共にするようになりました。チェコ在住日本人が次第に増える中で、日本語礼拝を独自に始める機運が高まり、2008 年 12 月に在日大韓基督教会の孫信一牧師が韓国の教会から派遣され、以来日本語による礼拝をささげています。

2022年2月にロシアがウクライナに侵攻して以来、プラハには多くのウクライナからの避難民が移り住んでおり、7月12日現在、避難民として政府に登録されている人数が、391,703人(UNHCRの統計)に及んでいます。チェコの人口が1000万人余りであることを考えると、かなりの負担ではないかと思われます。それでも、チェコ政府や教会の奉仕団体が避難民に手厚い援助を提供しており、民間でも積極的にサポートしています。チェコの人たちは、1968年の「プラハの春」改革運動を、ソ連軍の進駐によって阻止された記憶もあり、ウクライナの人たちに共感するところが少なくありません。1918年のチェコスロバキア独立時には、現在、ウクライナ領になっている地域(ザカルパッチャ州)が国土の一部であったという事情もあります。

私たちのコビリシ教会でも、施設内に避難民家族を受け入れており、住まいが決まるまでの臨時宿泊所として提供しています。4月からは、チェコの信徒が中心となり、ウクライナの子どもたちのチェコでの学校生活を助けるための放課後教室を運営しています。夏休み中は、午前中から教室を開き、昼食を提供すると共に、働く母親たちのために託児所の奉仕もしています。多くの避難民家族が、父親を祖国に残した母子家庭であることから、切実な要望があります。夏休みの間は政府からの援助がないため、私たちの仲介で、韓国の一教会と在日大韓基督教会全国女性会からの献金を受け、活動を支えることになりました。

コビリシ教会の日本語礼拝も、ウクライナ避難民の方たちのための支援に心を一つにしています。毎年開かれる「教会の夜」の行事では、閔梅羅宣教師が企画し、「We stand with Ukraine」のテーマでコンサートを開きました(YouTube チャンネル Gracesingers – Maera Min にダイジェスト)。避難民の音楽教師によるウクライナ民謡のアコーディオン演奏があり、全員でウクライナ国歌を斉唱する機会もありましたが、ウクライナの戦火が一日も早く鎮まることを祈るばかりです。

Rev. Son, Shin-il

Kostel U Jakobova zebriku U Skolske zahrady1 18200 Praha 8 Kobylisy CZECH REPUBLIC

Mail: sonshinil@gmail.com

教会 HP: http://prahajpchristian.blogspot.com/



教会 HP

GERMANY



ベルリン日本語教会 2005年~

MUTSUKO AKIBA

秋葉睦子

ANDREAS KRAMER

アンドレアス・クレーマー

JOHANN SATOSHI THEODORE CHIHIRO PAUL AKIRA

ヨハン悟志 テオドア千尋 パウル明

私たちベルリン日本語教会の始まりは80年代の日本人牧師による礼拝でした。海 外生活での困難を抱える中で、母国語で御言葉に触れる礼拝と交わりは貴重です。し かし海外受洗者が多く教会理解も全く異なり、高い流動性と経済的困難、高齢化など 教会形成面で多くの課題があります。

コロナ禍で多くのチャレンジを与えられましたが、小さい群れも何とか乗り切って、 主に守られていることは大きな恵みです。首都ベルリンに日本人は少なく、普段から クチコミやインターネット、フェイスブック、案内紙配布などで地道にアピールして います。この大変な時でも、新来者が訪れ、子どもたちも成長し、結婚予定のカップ ルもいます。20年近く群れを支えてくださった姉妹が天に召され、同じく長きにわ たり奉仕してくださった役員の姉妹も引っ越され、ベルリン日本語教会も少々さみし くなりました。しかし若い姉妹たちが引き継いでくださっています。主が必ず希望の 道を備えて下さることを小さな群れみんなで確認し、祈り歩んで行こうと互いに鼓舞 しています。また、長期化する戦争による物価上昇や生活環境の変化も深刻ですが、 何よりまず命が守られるよう、主の平和を祈る日々が続いています。

年末に、礼拝場所のドイツ教会から高額の賃料要求があり、教会退去の危機もあり ました。しかし、ベルリン宣教局や教区の先生方が間に立ってとりなしてくださり、 何とか今後も礼拝を続けられる見通しです。小規模ゆえできることは限られますが、 これからも合同バザーや合同礼拝を守り、主にある良い関係を願うばかりです。東ア ジア合同礼拝も韓中台日独の兄弟姉妹たちと、各国語での祈りや讃美を対面で分かち 合いました。地区の月曜エキュメニカル合同ペンテコステ礼拝も今年また、野外対面 礼拝を守ることができました。日本語礼拝でも、エキュメニカルな合同礼拝でも、礼 拝ごとに大きな恵みと喜びとを主から注いでいただいています。その他、日本基督教 団と関係の深いベルリン宣教局での会議では、定期的に情報交換し祈り合います。東 アジアのキリスト教会だけでなく社会・政治・環境問題にも目を向け、主にある平和 と連帯のため祈り、問題提起するドイツの牧師先生方にいつも感謝しています。

皆様の励ましとお祈りに深く感謝いたします。孤立無援になりがちな宣教・牧会の 中、本当に励まされます。宣教・牧会・3 人の子育てに家事と大変ですが、これから もベルリン日本語教会の信仰的成長、現地教会との良好な関係、世界宣教の広がり、 宣教師の働きや健康のためご加祷ください。

Pfarrerin Mutsuko Akiba

Nikolaus-Bares-Weg 47, 12279 Berlin GERMANY

Phone: +49-(0)30-8431-4286

教会 HP:http://japgemeindeberlin.jimdo.com/ Email: mutsuko.akiba-kraemer@gmx.net



GERMANY

ケルン・ボン日本語キリスト教会 2016 年~

RYOKO SASAKI

佐々木良子

コロナ禍が長引く中、いつも海外の教会に心寄せてくださり、心から感謝申し上げます。特にクリスマス、イースター等、教会暦に沿って、また誕生日に心の籠っ



た寄せ書きカードを送って頂けることは、とても嬉しく大きな励みとなっております。 改めてのこの場をお借りしてお礼申し上げます。

ケルン・ボン日本語教会はドイツ西部に位置し、ボン大学神学部学生寮にて「ボン聖書集会」を機にスタートした日本語教会です。海外にある日本の教会は、独自の会堂を持つことは経済的に難しいので、地元の教会頼りとなります。幸いにもご厚意によってライラント州の Dietrich Bonhoeffer Kirche(ボンヘッファー教会)をお借りすることができ助けられています。毎週の主日礼拝は14時からお捧げしていますが、コロナ禍以降は、第2・4主日は、会堂&スカイプによる同時配信、第1・3・5主日はスカイプのみとなっています。オンライン故に、日本やベルギー等、国境をこえて礼拝することが可能となっています。現在、ベルギー日本語教会は無牧なので、第1・2・3・5主日は合同礼拝を守っています。

今年の教会の変化として、牧師の雇用形態が変わりました。私たちの教会は、ドイツの福音主義合同教会(EKU)と日本基督教団との宣教協力の関係により、今年の3月まで約40年に亘り私を含めて歴代牧師の就労先は公的には、「州教会」となっていました。しかし、4月より州教会から離れて、本来のケルン・ボン日本語キリスト教会へと移行しました。これまでの事務上の関係は終了しましたが、交わりは今迄通り良い関係にあります。

さて、秋には教会創立 44 年目となります。人の移動が頻繁であるが故に、所謂、種蒔き教会のような存在であったとつくづく思うこの頃です。多くの方々に御言葉をお伝えできたことは喜ばしいことですが、信仰継承、教会形成の面では私たちの教会の弱さといっても良いと思います。結局、教会に残る方は、国際結婚された方々等、永住されている方々です。そのように中心的になっておられる方々はご高齢になり、これまでのような教会の歩みは難しいことを、教会の皆が一様に感じています。今後について真剣に祈り、考える時が来ていることを誰もが思っているところです。

そこで教会に集うお一人おひとりが、今後に関して主から直接御言葉をお聴きすることができるようにと、今年初めから教会全体として一年間で聖書通読を始めました。また、同時に懇談会を開き、将来の教会像を率直に語り合っている最中です。これから主がどのように導いてくださるのか、期待しながら模索している最中にあります。教会に集う方々が主によって更に一つとされ、示された道が主の御心であると確信をもって歩むことができるようになったら幸いです。その為にもお祈り頂けると力付けられます。

Pfarrerin Ryoko Sasaki

住所: Breslauer Str.26. 50858 Köln Germany (牧師宅)

Phone: +49-2234-9298792 Mobile: +49-151-29106278 教会 HP: http://koelnbonn.jp/ E-mail: r310130s@gmail.com



教会 HP

OTHERS

アメリカ

パイン合同メソジスト教会 Pine United Methodist Church

426 33rd Ave., San Francisco, CA 94121-1606 U.S.A

Phone: +1-(415)387-1800(代表) +1-(415)387-1881(直通)

Fax: +1-(415)387-1801

ユニオン日本語教会 Union Japanese Church of Westchester

c/o Hitchcock Presbyterian Church 6 Greenacres Avenue, Scarsdale, NY 10583 USA

Phone: +1-914-722-4554 教会 HP: http://www.ujcw.org

日本人特別牧会 Special Ministry to the Japanese

42 North Broadway, Tarrytown, NY 10591 c/o Special Ministry to the Japanese Japanese American United Church 255 7th Avenue, New York, NY 10001 USA

Email: smjoffice10001@gmail.com

HP: https://smjgny.org/

ボリビア

ボリビア福音メソジスト教会 ラ・グロリア教会

Cassila 582 Santa Cruz, BOLIVIA

Phone: +591-3923-7128



1. 海外で働く教団宣教師を支えるために

〈派遣先〉インド、フィリピン、台湾、米国、 カナダ、パラグアイ、ドイツ、ベルギー

2. 教団受入れ宣教師支援のために

世界宣教の日献金 2022 年度目標金額



500 万円

日本基督教団 世界宣教委員会 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 TEL 03-3203-0544 MAIL ecumeni-c@uccj.org

宣教師および配偶者*の誕生日

10月		高井へラー由紀 アンドレアス・クレーマー*	3月	12 ⊟ 26 ⊟	三浦照男 石田 求
11月	11 ⊟ 18 ⊟	久山啓子* 江原有輝子	6月	30 ⊟	うすきみどり
12月	28 ⊟	正木浩子* 正木義道 森谷和夫	7 _月	18 🖯	森谷タマラ*
1月	29 ⊟	三浦孝子* ダニエル・ヘラー* 佐々木良子	8月	18 🖯	久山康彦
2月	16 ⊟ 19 ⊟	ベルトラン小川文子 伊勢 希	9月	7 ⊟ 13 ⊟	秋葉睦子 ガマリエル・ベルトラン・Jr*
			* は配 [*]	偶者	

誕生日やクリスマスなど、折にふれカード等を出してくだされば、大きな励みになります。どうぞお覚えください。

2021 年度「世界宣教の日」献金一覧

北海余市教会札幌教会	9,100 5,000	長浦教会 佐倉教会 天王台教会 東京シオン教会	3,000 1,000 1,000 1,000	東中国 岡山教会 西中国	5,000
奥羽 一関教会	E 000	亚 市		松永教会 三次教会	5,000 3,000
一阕教芸 日詰教会	5,000 5,000	西東京 阿佐ヶ谷教会	114,856	三次教云 隠岐教会	2,000
秋田桜教会	3,000	南三鷹教会	30,000	局域教女	2,000
WE KIND	0,000	41 11 11 11 11 11 11 11 11 11	20,000	四国	
東北		鶴川北教会	10,000	 今治教会	5,000
山都教会	5,000	永福町教会	5,000	宇和島南伝道所	5,000
関東		神奈川		九州	40000
埼玉和光教会	10,000	横浜港南台教会	20,000	熊本草場町教会	10,000
西川□教会	10,000	逗子教会	20,000	鹿児島鍛冶屋町教会	20,000
草加教会	10,000	横浜本郷教会	15,000	長崎銀屋町教会	10,000
大宮教会	10,000	横浜菊名教会	10,000	宮崎教会	5,000
東中通教会	5,000	茅ヶ崎恵泉教会	10,000	熊本白川教会 中津教会	5,000 5,000
シャロンのばら教会 所沢みくに教会	5,000 5,000	三田教会 六角橋教会	10,000 10.000	中洋教芸 平戸伝道所	3,000
がためてに教会 武蔵豊岡教会	5,000	八月倘敦云 茅ヶ崎教会	5,000	指宿教会	3,000
武	5,000	ポケ崎教会 元住吉教会	5,000	1911	3,000
和戸教会	5,000	新丸子教会	5,000	沖縄	
水戸教会	5,000	横浜磯子教会	3,000	読谷教会	10,000
飯能教会	4,000	片瀬教会	3,000	0.032	10,000
新津教会	3.100	/ 1/MX-5X_A	0,000	団体	
下館教会	3,000	中部		ベルギー官教支援会	500.000
1 20 3 1 2	0,000	金城教会	31,200	横浜英和学院	120,000
東京		魚津教会	10,000		
原宿教会	200,000	御器所教会	10,000	個人	
霊南坂教会	50,000	南山教会	10,000	大村直子	5,000
西千葉教会	50,000	半田教会	10,000		
南支区婦人会	34,000	四日市教会	5,000	海外	
信濃町教会	30,000	春日井教会	5,000	サンパウロ福音教会	100,000
千歳船橋教会	25,000	内灘教会	5,000	共同世界宣教局 (CGMB)	92,000
奥沢教会婦人会	20,000	金沢元町教会	4,020		
滝野川教会	20,000	中川ぶどうの木伝道	所 3,000	合計 2,1	15,963
柏教会	20,000 20,000	京都			
本多記念教会 野田教会	12,017	スの 洛陽教会	50,000		
下谷教会	10.000	大津教会	15,000		
経堂緑ケ岡教会	10,000	八件找五	13,000		
洗足教会	10,000	大阪			
田園調布教会シオン会	10,000	石橋教会	15,670		
百人町教会	10,000	河内松原教会	5,000		
目白教会	10,000	八尾教会	4,000		
亀戸教会	5,000				
久ヶ原教会	5,000	兵庫			
弓町本郷教会	5,000	神戸栄光教会	50,000		
市川三本松教会	5,000	西宮一麦教会	15,000		
勝田台教会	5,000	はりま平安教会	5,000		
小松川教会	5,000	宝塚小林教会	3,000		
千葉本町教会	5,000	神戸東部教会	2,000		

支援会一覧

インド三浦後援会

郵便振替 00180-1-279372

〒 145-0071 東京都大田区田園調布 3-34-18 代表: 坂本洋

ベルトラン・ミッションパートナーズ 郵便振替 00190-4-361321

〒 155-0032 東京都世田谷区代沢 2-13-13 代表: 清弘剛生

うすきみどり牧師を支える会

郵便振替 00970-9-267222

〒 651-0076 神戸市中央区吾妻通 5-2-20 神戸イエス団教会 代表:坂本清音

高井へラー由紀宣教師を支える会

郵便振替 10190-79048851

〒 204-0004 東京都清瀬市野塩 5-28-13 フロンテ秋津 102 佐藤摂子方 代表:佐藤摂子

石田求宣教師を支える会

郵便振替 00910-7-334484

〒 981-0923 仙台市青葉区東勝山 2-27-18 日本基督教団仙台北教会内 代表:菅根信彦

江原有輝子牧師パラグアイ伝道支援会 郵便振替 00110-9-792292

〒 166-0001 東京都杉並区阿佐谷北 5-18-10 阿佐ヶ谷教会内 代表: 古屋治雄

伊勢希宣教師を支える会

郵便振替 00960-4-284758

〒 662-0812 兵庫県西宮市甲東園 1-2-15 日本基督教団甲東教会内 会計:新堀真之

秋葉睦子宣教師のベルリン伝道を支える会 郵便振替 00130-9-297684

〒 156-0042 東京都世田谷区羽根木 2-1-12 秋葉方 代表世話人:笠原義久

佐々木良子宣教師を支える会

Д

郵便振替 00120-3-450845

〒 134-0081 東京都江戸川区北葛西 4-3-9 小松川教会内 会長:物井惠一

世界宣教の日献金

郵便振替番号 00140-9-145275

(お振込の際は、必ず「世界宣教の日献金」とご明記ください)

毎年10月第1日曜日は、海外で働く教団宣教師を支える「世界宣教の日」です。私達は 毎年この日に、「世界宣教の日献金」を行っています。

教団の派遣宣教師を覚え、祈りと献金を捧げましょう。

献金は、上記奨学金に加え派遣宣教師の生活費・活動費・医療緊急費および受入れ宣教師 支援のために使われます。

Щ

日本基督教団 受入宣教師リスト

任地	名前	派遣ボード
北海教区		
北海教区	ディヴァン・スクルマン*	台湾基督長老教会 (PCT)
北星学園大学	トーマス・ゲッツ*	アメリカ合衆国長老教会 (PCUSA)
酪農学園	朴美愛 (パク・ミエ)*	大韓イエス教長老教会(統合)(PCK)
遺愛学院	ブリットニー・カールソン	国際福音宣教会 (OMF)
奥羽教区		
日詰教会	張仁惠(チャン・インへ)*	基督教大韓監理会 (KMC)
秋南教会	鄭仁和(チョン・インフヮ)*	大韓イエス教長老教会 (統合) (PCK)
弘前学院聖愛高校	テホ・ケン*	米国、アライアンス教団 (C&MA)
関東教区		
西那須野教会	潘炯旭 (バン・ヒュンウク)*	基督教大韓監理会 (KMC)
東松山教会	崔長壽 (チェ・ジャンス)*	大韓イエス教長老教会 (統合) (PCK)
アジア学院	バーナード・ティモシー・アッパウ	* 全アフリカ・バプテスト連盟
アジア学院	ジョナサン・マッカーリー *	合同メソジスト教会 (UMC)
アジア学院	マッカーリー里美	合同メソジスト教会 (UMC)
共愛学園高校	荒谷出*	合同メソジスト教会 (UMC)
共愛学園小学校	ウィネット・タープストラ	アメリカ改革派教会 (RCA)
東京教区		
西荒川教会	エヴァート・オズバーン*	共同世界宣教局 (CGMB)
久ヶ原教会	キスト岡崎さゆ里*	アメリカ改革派教会 (RCA)
久ヶ原教会	エイブラハム・キスト岡崎 *	アメリカ改革派教会 (RCA)
池袋台湾教会	郭寛城 (クウォ・クヮンチュン)*	台湾基督長老教会 (PCT)
百人町教会	賈晶淳 (カ・ジュンスン)*	韓国基督長老会 (PROK)
我孫子教会	金南救(キム・ナムグ)*	基督教大韓監理会 (KMC)
ウェスレー財団	小海光 *	合同メソジスト教会 (UMC)
聖学院大学総合研究所	ディーン・サザディン	共同世界宣教局 (CGMB)
青山学院大学	ポール・土戸シュー*	合同メソジスト教会 (UMC)
青山学院大学	デイヴィッド・リーディー	合同メソジスト教会 (UMC)
女子聖学院高校	ネイサン・ブレイクスリー	アメリカ改革派教会 (RCA)
明治学院高校	斎藤直実	アメリカ改革派教会 (RCA)
西東京教区		
ロゴス教会	山本俊正*	ロゴス教会
東京台湾教会	李敏功 (リ・ミンクン)*	東京台湾教会
東京神学大学	ウェイン・ジャンセン*	東京神学大学
桜美林大学	ジェフリー・メンセンディーク *	桜美林大学
ボランティア活動	ジャンセン美穂	ボランティア活動
神奈川教区		
海員宣教	ロナルド・ジュリアン	合同メソジスト教会 (UMC)
寿地区センター	鄭芝永 (チュン・ジヨン)*	韓国基督長老会 (PROK)
フェリス女学院中高	ジョセフィーン・キムラ	アメリカ改革派教会 (RCA)

1 I.I	-)—10 III II
任地	名前	派遣ボード
フェリス女学院中高	ネイサン・ブラウネル *	アメリカ改革派教会 (RCA)
フェリス女学院中高	マディソン・ミラー	アメリカ改革派教会 (RCA)
ボランティア活動	ブラウネルのぞみ	アメリカ改革派教会 (RCA)
東海教区		
山梨英和大学	洪伊杓(ホン・イピョ)*	基督教大韓監理会 (KMC)
中部教区		
魚津教会	ルツ・エステル・ウェーラー*	スイス・バプテスト教会
中川ぶどうの木伝道所	尹成奎 (ユン・ソンキュ)*	基督教大韓監理会 (KMC)
金城学院	吉松純*	合同メソジスト教会 (UMC)
金城学院	ケイトリン・オクイン	ブレザレン教会 (BVS)
京都教区		
ゴスペルハウス伝道所	金度亨 (キム・ドヒョン)*	基督教大韓監理会 (KMC)
同志社大学	マーサ・メンセンディーク	共同世界宣教局 (CGMB)
大阪教区		
大阪聖光教会	崔炳九 (チェ・ビョング)*	大韓イエス長老教会(白石)(PGAK)
泉大津教会	崔弘徳 (チェ・ホンドク)*	大韓イエス教長老教会 (統合) (PCK)
石橋教会	金鍾圭 (キム・ジョンキュ)*	基督教大韓監理会 (KMC)
森小路教会	林尚俊 (イム・サンジュン)*	国際独立教会連合
兵庫教区		
武庫之荘教会	今泉信宏*	合同メソジスト教会 (UMC)
姫路栄光教会	朴光用 (パク・クヮンヨン)*	大韓イエス長老教会(大神)
能勢口教会	金珍熙 (キム・ジンヒ)*	基督教大韓監理会 (KMC)
関西学院大学	クリスチャン・モリモト・ヘアマンセン	ノルウェールーテル教会 (NLC)
関西学院高等部	ダニエル・デルミン	英国メソジスト教会 (MC)
(関西学院中学部)	(スラッシャー・ジュリア)	(クリスチャン・エデュケーター)
九州教区		
活水女子大学	カレン・ストライダム	Doxa Deo
鎮西学院高等学校	クリスティーナ・ボーネット	Gateway Community Church
休職		
(ドイツ留学)	李倫尚 (イ・ユンサン)*	大韓イエス教長老教会 (統合) (PCK)
(ドイツ留学)	李香奈 (イ・カナ)	大韓イエス教長老教会 (統合) (PCK)

注:*印は按手礼受領者

MICHIKO NISHINOSONO

西之園路子 世界宣教委員長

with コロナの日々はまだ続いており、気を抜けないところもありますが、その一方で、少しずつ教会の諸活動も再開され、国を跨いでの人々の移動も行われるようになってきました。昨年延期になったWCC(世界キリスト教協議会)の総会も 2022 年 8 月 31 日から9月8日にドイツのカールスルーエで開催する方向で準備が進められています。ウクライナ情勢、平和問題、環境問題、コロナやウクライナ情勢の影響を受けての物価高と貧困、食糧不足の問題等、世界の教会が祈りを合わせ、共に取り組んでいかなければならない問題が多くあります。それぞれの歴史的・政治的な背景の違いもあり、ときに思いを一つにしていくことは難しいこともあると思わされますが、一つの主の体、主の幹に連なる者として多様性の中で和解と一致を求めていくことができるよう、祈りを合わせたいと思います。2022 年 3 月末に松本章宏宣教師(シンガポール日本語キリスト教

2022年3月末に松本草宏宣教師(シンカボール日本語キリスト教会)、小井沼眞樹子宣教師(ヴァレリオ・シルヴァ合同長老教会、ブラジル)、長尾有起宣教師(韓国基督教長老会 ソウル第一教会)、6月末に山本一宣教師(ウェスレー合同メソジスト教会、アメリカ)がそれぞれの任期を満了され、教団宣教師としての働きを終えられました。2022年8月~2023年1月には、短期派遣宣教師として伊勢希宣教師をブリュッセル日本語プロテスタント教会(ベルギー)に派遣いたします。

宣教師たちの働きは、現地の教会と人々の仕えると共に、日本の教会と世界の諸教会を繋ぐ大事な役目を担っています。その働きを祈りの内に覚えつつ、ぜひお支えください。

世界宣教委員会

委員長 西之園路子 野田教会牧師

書記 近藤 誠 仙台北教会牧師

委員 小海 光 ウェスレー財団代表理事

村山盛芳 南山教会牧師

廣石 望 代々木上原教会牧師

宮本和武 日本キリスト教社会事業同盟(パット博士記念ホーム園長)

ウェイン・ジャンセン 宣教協力学校協議会(東京神学大学教授)

共に仕えるために No.38

発行日: 2022 年 8 月 20 日

発行:日本基督教団 世界宣教委員会

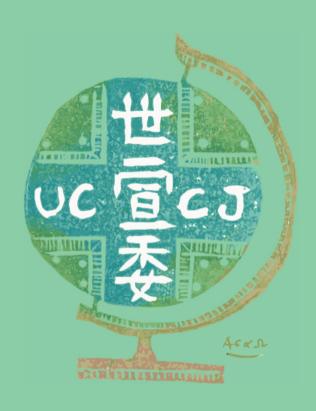
住所:169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 日本キリスト教会館 31 号室

電話:03-3202-0544

MAIL: ecumeni-c@uccj.org

郵便振替:00140-9-145275 日本基督教団

印刷:山猫印刷所



共に仕えるために No.38 日本基督教団 世界宣教委員会